



ひすい

系魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 5月号 (No. 4)

令和3年5月28日発行



運動会へ Let's Go!



運動会が1週間後に迫ってきました。ひすいの運動会は2年ぶりとなります。昨年は新型コロナウイルスのために、残念ながら中止とさせていただきます。その分、今年は2年間ため込んだエネルギーをフルに使って、例年よりも躍動的な運動会にしたいと考えています。



5月12日(水)に全校児童生徒が体育館に集い、運動会オリエンテーションを行いました。「今日から、6月5日(土)の運動会に向けて、みんなで力を合わせて頑張りましょう！」体育主任の鈴木先生の掛け声に、子どもたちは真剣に、そしてやる気満々の表情で応えました。(声は△です。)

「赤組の応援団長は…、白組の応援団長は…」

「運動会のスローガンは『もえろ あかしろ こころをひとつに ちからいっぱい がんばるぞ』です。」

「オリンピック・イヤーの今年は、開会式で〇〇を全員でリレーします。」

運動会の内容が紹介されるたびに、子どもたちはうなずきながら、運動会への期待感を高めていきました。運動会の練習の様子ですが、…秘密です。当日を楽しみしてください。

今年度から、ひすいの運動会は系魚川小学校の講堂での実施になります。競技するにも応援するにも十分な広さです。応援に来ていただく皆さんには、精一杯の拍手(声は控え気味で)で子どもたちを後押ししてください。



“ひすい”の校舎を美しく！

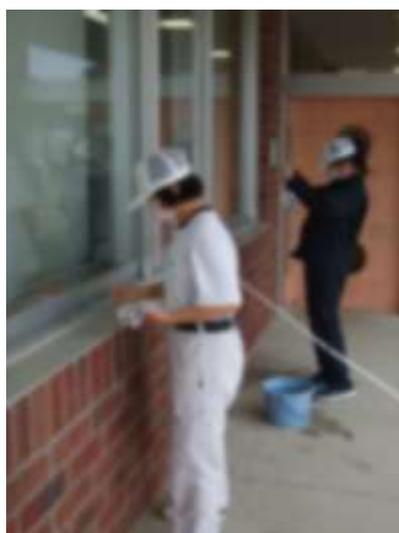
～県立高田特別支援学校白嶺分校 作業学習～

「きれいな校舎は気持ちいいですね。」学習支援ボランティアさんが何気なく発した言葉です。校舎の新築から8年目を迎えるひすいの里総合学校も、その“きれいな学校”を維持できているからこそその声だったと思います。ただし、学校をきれいに保つには、それ相応の人力と時間が必要です。

5月26日（水）、白嶺分校（高等部）の8名の生徒がワイパーや雑巾、バケツなどの清掃用具をもって、ひすいの校舎の清掃に来ていただきました。到着するやいなや、ひすい職員への挨拶と作業開始の報告を行い、仕事に取り掛かりました。例年のように校舎の外側は、黄砂等が飛来したままの状態、窓ガラスは細かい砂が付着して曇っていました。そこをワイパーで丁寧に拭き取り、透明感のある窓ガラスに戻してくれました。また、泥やごみがたまっているレール部分は歯ブラシと雑巾を使ってきれいにしてきました。ひすいのために働いてくださる高等部の生徒には、感謝の言葉しかありませんでした。

白嶺分校の生徒は、この清掃を「作業」の時間の学習活動として行っています。日頃、校内で学習している清掃作業の学びを発揮する実践の場となるわけです。その意味では、ひすいは作業の場を提供しているわけなのでどうということはないのですが、それでも大変ありがたいことです。作業は2時間ほどでしたが、黙々と清掃をしている生徒の様子に、いつしか“将来はこうなってほしいな”と、ひすいの子どもたちの姿を重ね合わせて見ていました。

今週から再来週までの3週間、週に2回、計6回の計画でひすいの校舎をきれいにしていただけることになっています。手が加わったところは、さすがに“きれい”です。



季節を彩る “ひすい” の仲間たち



梅雨入り前のこの時期にふさわしい、子どもたちの目を楽しませてもらえる職員手作りのマスコットが登場しました。

かわいい表情の“てるてる坊主”、玄関に入



るとすぐさま目に飛び込んでくるカラフルな蛙たち、ガムテープの芯を使った“かたつむり”など、どれも工夫された楽しい作品です。ぜひ、ご覧ください。